

ROLAND DIGITAL DRUM SYSTEM

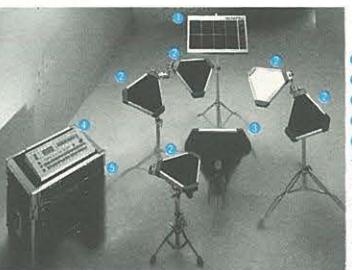


ドラマーのための最新型ドラム・セッティング。
ローランドが提唱する新しいかたち。



ROLAND DIGITAL DRUM SYSTEM

遂に登場した衝撃のドラム・システム、『ローランド・デジタル・ドラム・システム』。デジタル次代のドラム・キットとして、練りに練った自信作。α-DRUM、オクタパッド、リズム・コンポーザーと極めてシンプルなメンバー。その多彩な機能によって、欲しい音色を意のままに創りだし、その音色を叩いてコントロール。ドラマーが持つ可能性を極限まで引きだし、新たなる音楽シーンを創造します。



- ① MIDIパッド・コントローラー OCTAPAD
- ② スネア・タム・パッド PPD-20
- ③ バス・ドラム・パッド PPD-10
- ④ リズム・コンポーザー TR-727
- ⑤ 上から順に
デジタル・ドラム 音源ユニット DDR-30
シンセサイザー 音源モジュール MKS-30
シンセサイザー 音源モジュール MKS-30
ピアノ 音源モジュール MKS-10
デジタル・リバーブ SRV-2000
デジタル・ディレイ SDE-2500

感性直撃型ドラマーのための
ドラム・シンセサイザー・システム。

α-DRUM

TOTAL ¥368,000 *デジタルドラム音源モジュール DDR-30 ¥228,000 *バス・パッド・コントローラー PD-10 ¥40,000 *スネア タム・パッド・コントローラー PD-20 ¥20,000×5

α-DRUMこそ、まさに、ドラム・シンセサイザーと言って良いでしょう。それは、シンセサイザーという名に恥じない、繊細な音創りを可能にした完全デジタルPCM音源ユニットと、その音色を生かしきるパッド・コントローラーのマッチングにより、ドラマーの感性をとめどなく表現できるからです。“生ドラムの音”“電子ドラムの音”という枠を超え、欲しい音色が自分で創れ、しかも今までと同じようにパッドを“叩く”という動作でその音色をコントロールできるのがこのα-DRUMです。次代のドラム・シーンをショットする、デジタル・ドラム・シンセサイザーです。

Roland DIGITAL DRUMS

INT DRUM BANK 1



DDR-30



POWER

MEMORY CARTRIDGE

MIDI MESSAGE

その源は完全デジタル

完全デジタルPCM音源を搭載したドラム音源ユニットDDR-30が、α-DRUMの核となります。完全デジタルならではのリアルなドラム音はもちろん、さらにつまみ細かな音創りを可能にしたのが、このDDR-30です。DDR-30に内蔵されている音源は、バス・ドラム用(BD)、スネア・ドラム用(SD)、タム用×4(TM1~4)の6音源。バス・ドラムの音源は、専用バス・ドラム・パッドPD-10で、スネア・タムの音源は、専用スネア・タム・パッドPD-20を叩くことによってコントロールします。この6音源には、それぞれ4種類の異なるPCM音源が内蔵されており、このPCM音源をベースに、音色創りが行なえます。創った音色は、各音源それぞれ8種類ずつ記憶でき、その中からおのの欲しい音色を音源ごとに選んで、1つのドラム・セットとして使用します。

■音源及び音色の切換

INT DRUM BANK 1

記憶されている8種類の音色のうち、
どれを使っているかを数字で表示します。
(1~8)

音源名の略号が表示されます。
バス・ドラム = BD、スネア・ドラム = SD、タム = TM1、TM2、TM3、TM4
切換えは、インストルメント・セレクト・スイッチで簡単に行なえます。



DDR-30は、このドラム・セットを、なんと32種類も記憶することができます。つまり32のドラム・セッティングがこの1台でこなせてしまうわけです。切換えは、ボタン操作の他、ペダル・スイッチ(DP-2)でもコントロールできるライブ感覚です。

■ドラム・セットの切換

INT DRUM BANK 1



自分の音に創り変える

BD、SD、TM1~4の6音源がそれぞれ持っている4つのPCM音源をもとに、自分の欲しい音色を創りあげることができます。このDDR-30最大の特長です。設定できる要素(パラメーター)は、デジタルならではの豊富さと繊細さを許します。操作はいたって簡単。音源とパラメーターを呼びだして、あとはα-ダイアルをクルクル回して値を設定するだけ。大型ディスプレイに音源名、パッチ・ナンバー、パラメーターネーム及び設定値を表示しますので、誰にでもわかりやすく、音色創作が行なえます。パラメーターは4つのグループ、計16種類。あらゆる面からの音創りを可能にします。

■パラメーターの表示

SU-2 ENV DCAY 05



ボイス・グループ

このグループのパラメーターでは、各音色の音量および音量の変化のしかたを設定できます。

SOURCE NO ソース・ナンバー

各音源(BD、SD、TM×4)にそれぞれ4種類ずつ内蔵されているデジタル音源(ソース)の中から、使うソースを選ぶパラメーター。ここで選んだものが音色を創るために基本の音となります。

LEVEL レベル

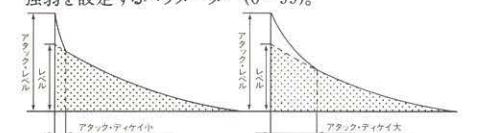
音色の音量を設定するパラメーター。さまざまな音色を組合せて使うα-DRUMには欠かせないパラメーターのひとつ。組合せた他の音源との音量バランスを細かく設定できます(0~99)。

ENV DCAY エンブロープ・ディケイ

音量がピークに達してから、音が消えるまでの時間を設定するパラメーター(0~99)。

ATTACK アタック・レベル

パッドを強く叩くと音にアタック感がつきますが、そのつき方の強弱を設定するパラメーター(0~99)。



ATK DCAY アタック・ディケイ

アタック音が消えるまでの時間を設定できるパラメーター(1~99)。

ピッチ・グループ

このグループのパラメーターでは音色の音程と、音程を変化させて得る効果(ピッチ・ベンド効果)の設定が行なえます。

PITCH ピッチ

音色の音程を設定するパラメーター、上下1オクターブずつ変化します。デジタルですから、生ドラムのチューニングと違い、正確に、しかも微妙な設定ができますので、特にタムの設定には効果を発揮します(-24~+24)。

BENDDEPTH ベンド・ディープス

ピッチ・ベンド効果のかかり具合を設定するパラメーター。値が大きくなるほど、音程が大きく変化し、効果が深くなります(0~99)。

BENDDCAY ベンド・ディケイ

音程がベンド・ディープスで設定した値になるまでの速度を設定するパラメーター。値が大きくなるほど、ゆっくり効果がかかり、ゆっくりした変化が得られます(1~99)。

DYN SENS ダイナミクス・センス

ベンド・ディープスをパッドを叩く強さに対応させ、変化させられます。値が大きいほど、ドラミングの強弱によって、ベンド・ディープスが激しく変化します。強く叩けばベンド・ディープスが深くなり、音程が大きく変化するわけです(0~99)。

イコライザーグループ

このグループのパラメーターでは、音色の音質を調節できます。音源や音色にあわせた自由なイコライジングが可能です。

TREBLE トレブル

高音域のカット(-)またはブースト(+)を行なうパラメーター(-6~+6)。

BASS ベース

低音域のカット(-)またはブースト(+)を行なうパラメーター(-6~+6)。

ゲート・グループ

このグループのパラメーターでは、音が急激に切れる効果(シグナル・ゲート効果)を設定できます。

効果のかかり方は2種類、ゲート1はある一定の強さ以上で叩いた時だけゲート効果が働き、任意の時間、音を延ばすことができます。ゲート2は叩き方の強弱にかかわらず常に効果がかかります。

G LEVEL_1 ゲート・レベル1

ゲート1がかかるはじめる時の音量を設定するパラメーター(0~99)。最も強く叩いた時の音量を100として絶対値で設定します。

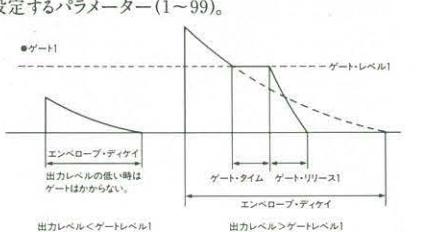


G TIME ゲート・タイム

ゲート1で、音を延す時間を設定するパラメーター(0~99)。延びている時の音量はゲート・レベル1で設定した音量となります。

G RELEASE ゲート・リリース

ゲート1でゲート・タイムを経た後、音が切れるまでの時間を設定するパラメーター(1~99)。

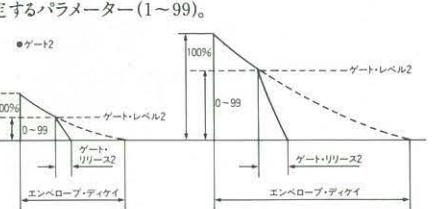


G LEVEL_2 ゲート・レベル2

ゲート2がかかるはじめる時の音量を設定するパラメーター(0~99)。叩いた瞬間の音量を100%として、何%まで減衰した時に動作はじめるか(相対値)で設定します。

G RELEASE_2 ゲート・リリース

ゲート2で、ゲート・レベル2後、音が切れるまでの時間を設定するパラメーター(1~99)。



センシティビティ&コピー

BD、SD、TM1~4の音源は、感度(センス)を設定することができます(0~20)。値が大きくなるほど、パッドを軽く叩いて大きな音が出るようになります。プレイヤーのパワーや音色の特性にあわせたセッティングができるわけです。また、便利なコピー機能搭載。本体メモリー内、カートリッジ・メモリー内、または、本体メモリーとカートリッジ・メモリー間で、音色を移動(コピー)することができます。つまり、全く同じ音色を改めて創らなくても好きな場所にコピーできるのです。



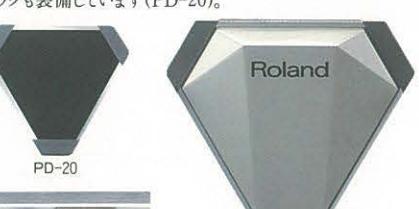
アウトプットはマルチプル

アウトプットには、MIXアウト(L、R)に加え、マルチ・アウトを装備。BD、SD、TM1~4を別々に出力できます。デジタル・リバーブSRV-2000を使ってのゲートリバーブ効果や、デジタル・ディレイSDSシリーズ(3000/2500/1000)を使ったディレイ効果、イコライザーを使った特性設定など、独自な音創りが楽しめます。

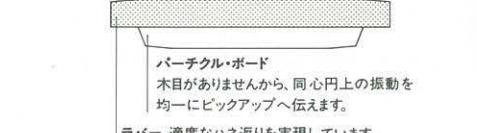


専用パッド PD-10/20

DDR-30専用パッドPD-10(バス・ドラム用)、PD-20(スネア・タム用)は、パード、ラバード、フィルムの三層構造により、ハネ返りの良い快適な感触を実現。電子ドラム特有の“かたさ”を感じさせません。接続端子にはDDR-30との接続用XLRコネクターに加え、オクターパッドとの接続用に、標準ジャックも装備しています(PD-20)。



ルミラ・フィルム 生ドラムと同様のフィルムを貼っているので、スティックが当たった時の感触は快適そのものです。



MIDI装備で拡張テク・オフ

現在では、ほとんどの電子楽器に装備されているMIDI(Musical Instrument Digital Interface)機能搭載。このMIDIを利用してさまざまなシステム・アップが行なえます。たとえば、α-DRUMの演奏をMIDIシーケンサー(MSQ-100/700など)に記憶させたり、また反対にキーボード、リズムマシン、シーケンサーそしてコンピューターなどによって、DDR-30をコントロールしたり、さらにはDDR-30にシンセサイザーや音源モジュールを接続し、パッドを叩くことによって同時にそれらの機器をコントロールすることが可能です。また、音色切換情報(プログラム・チェンジ)を利用すれば、外部の機器によってDDR-30のドラム・セットを切換えたり、逆にDDR-30で他の機器の音色を切換えることができます。ドラマーの新しい演奏形態を提唱するのも、このα-DRUMです。

●ドラム・セット記憶数：32(4バンク×8セット) ●音源：6(BD、SD、TM1、TM2、TM3、TM4) ●パッド・センス：音源ごとに設定可能 ●音色メモリー：バス・ドラム×8、スネア・ドラム×8、タム1×8、タム2×8、タム3×8、タム4×8 ●ディスプレイ：16ケタ蛍光表示 ●接続端子：パッド、トリガード・インプット×6、マルチ・アウト×6、ミックス・アウト(L、R)、パンド・シフト、セット・シフト、MIDI IN、MIDI OUT、MIDI THRU ●消費電力：24W ●外形寸法：483(W)×88(H)×300(D)mm(EIA-2Uラック・マウント・タイプ) ●重量：5kg ●付属品：接続ケーブル×2



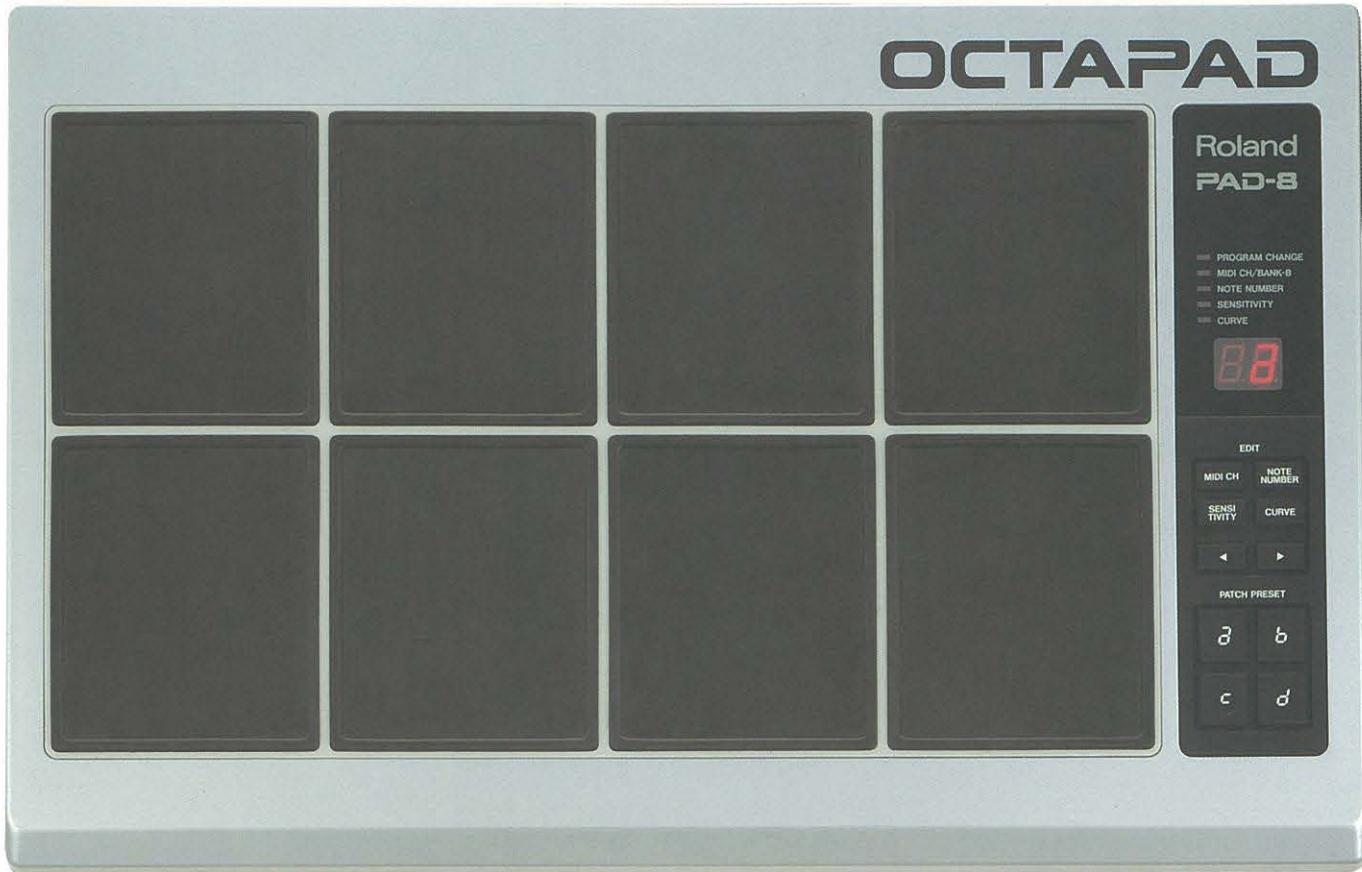
PD-20用スタンドについて：写真はTAMAダブル・タム・タム・スタンダード・シリーズを使用しています。スネア・スタンダード及びバス・ドラム用ペダルなどは市販のものを御使用ください。

『叩く』ことによって生まれる世界を無限に広げる衝撃のデバイス。

OCTAPAD

PAD-8 MIDI PAD CONTROLLER

¥98,000



音源はあなたが選ぶ

MIDIを装備した、音源を持つ全ての楽器がオクタパッドのパートナーとなります。どんな音源を使用しても、その音の持つ特性を最大限に発揮できるように、ダイナミクス機能を搭載。“叩く”という演奏方法によるプレイヤーの感性を十二分に反映できます。MIDIのペロシティ情報に対応できる音源であれば、オクタパッドの叩き加減によって、音量の強弱や音色の変化を得ることができます。コンピネーションはいろいろ。例えばTR-727とコンビを組む。PCM録音によるリアルなパーカッション・サウンドが音源となります。もちろん、ダイナミクス対応だから、まさに人間味あふれるプレイが可能、新しいパーカッション・スタイルを形成するベストコンビとなります。同様に、DDR-30やTR-707とコンビを組めばドラム・サウンドが音源となります。さらに、ボリューミック・シンセJX-8Pとコンビを組む。打楽器音はもちろん、ピアノ、オルガン、クラビなどの鍵盤楽器音、バイオリン、ピオラ、チェロなどの弦楽器音、フルート、トランペッタなどの管楽器音、かみなり音、そして架空の音まで、JX-8Pで創れる全ての音が音源となります。今まで“叩く”という演奏方法では得られなかった音をコントロールできるうえ、さらに、音程をつければ、逆に叩く和音演奏が可能です。ドラマー・やパーカッショニストが、キーボードをコントロールして演奏するという、これまた今までにない演奏形態を生みだします。さらに、サンプラーとコンビを組めば、サンプリングしたさまざまな音や声、言葉など、実際に存在するあらゆる音を音源することができます。まさに打楽器の既成概念を打ちやぶり、打楽器を超えた演奏表現を可能にします。

オクタパッドPAD-8は、MIDIで接続された音源を、内蔵のパッドを叩くことによってコントロールする、ダイナミクス対応MIDIパッド・コントローラーです。このオクタパッドの出現によって、ドラマー・やパーカッショニストの演奏表現が躍進的に拡大されます。リアルな音色で定評のあるTR-727やTR-707とコンビを組めば、TRの持つ音源をオクタパッドを叩くことによってコントロールできるわけです。つまり、今までプログラマブルであったのが故に、実際に“叩ける人”にとっては遠い存在であったリズムマシンを、1つの打楽器として得意の叩くテクニックを生かして使えるわけです。さらに、今まで「ドラム」「ボンゴ」「コンガ」など限られたひとつの楽器が持つ音しか操れなかつたドラマー・やパーカッショニストも、このオクタパッドにシンセサイザーやサンプラーを組ませることによって、現存するあらゆる音を駆使した、全く新しい演奏が行なえるようになります。“叩く”ことによって表現できる世界を無限に拡大させるOCTAPAD。全ての“叩く演奏者”に贈りたい自信作です。

6つのパラメーターを駆使すれば、

さらに個性が発揮できる。

8つの内蔵パッドは、それぞれ独立して、次の6つのパラメーターを設定することができます。

① MIDIチャンネル

1~16まで設定できます。この設定で鳴らす機器が決まります。

② ノートナンバー

0~99まで設定できます。この設定で鳴らす音色が決まります。

③ センシティビティ

1~16まで設定できます。この設定でパッドの感度が決まり、値の大きい程感度が上がり、叩き方に敏感に反応します。

④ カーブ

5種類(1~5)のカーブを選択できます。叩く強さに対して、音量の変化のしかたが変わります。

⑤ ミニマム・ペロシティ

0~64まで設定できます。これは音源によって、パッドの叩き方が弱いと、音の出にくいものに対して、弱く叩いても必ず音が出るように調節するものです。また、叩き方のバラつきが欲しくない時などにも効果的です。

⑥ ゲート・タイム

1~60まで設定できます。持続音系の音(ストリングスなど)を音源とした時に、その持続時間を調節する機能です。

パッドの増設もOK。

OCTAPADのパッドは、独自の3層構造により適度なはねかえりが得られます。また打面もルミナーを使用、アコースティック・ドラムのヘッドの感触で微妙なニュアンスも充分に生きることができます。さらに、“もっと沢山パッドが欲しい”という要求にもみごとに応じます。外部入力端子を6系統装備、6つまでの外部パッド(PD-20などを)を増設することができます。そのうえ、増設したパッドにおいても本体内蔵パッドと同様にパラメータ設定ができるてしまうといううれしさ。ゆえに、なんと14面のパッドを叩きまくっての、エキサイティングな演奏ができるわけです。そしてもうひとつ、MIDI IN端子を使用すれば、複数のOCTAPADを接続して使うこともできます。つまり、パッドの数は、まさに自由に決められるのです。

パッチプリセット機能搭載、ライブに強し。

増設パッドをも含めた、パッドの組合せをa、b、c、d計4種類記憶できるパッチ・プリセット機能。スイッチ操作で即座に切替えられますので、特にライブでは強い味方となります。切替えはフットスイッチ(DP-2)によってシフトすることもできます。aにはTR-727を、bにはTR-707を、cにはJX-8Pを、dにはMK S-80を音源としたセットを組み、瞬時に切替えるなど、1曲ごと、1コーラスごと、そしてぜひたくに1フレーズごとに、とても1人で操っているとは思えないほどの夢のようなプレイが簡単にできてしまいます。さらに、OCTAPADのプログラム・チェンジ情報により、音源の音色を切替えることも可能です。

各パラメータの設定は、その用途や操作性を考慮して、2つのモードを用意。1つは8つのパッドのパラメータを全て同一の設定にできる“エディット・モード”、もうひとつは、1つ1つのパッドを個別に設定できる“インディビジュアルエディット・モード”。例えば、シンセサイザーを音源として、同じ音色で音階を指定して使いたい時などは“エディット・モード”で、8つのパッド全てを別の音色で使いたい時は“インディビジュアル・エディット・モード”で音色にマッチしたパラメータ設定を行なうなど、用途によって、より操作性よく設定が行なえるわけです。また、可変幅の広いパラメータの設定には、1度に大幅な設定値の変更ができるスキップ機能が装備されています。

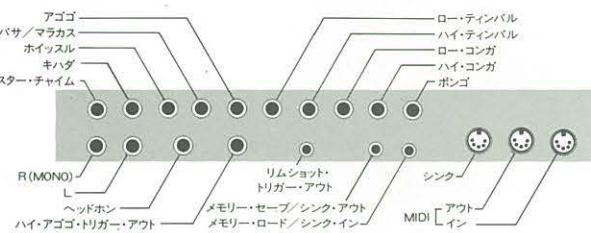
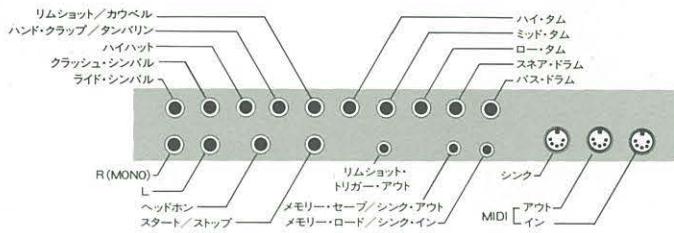
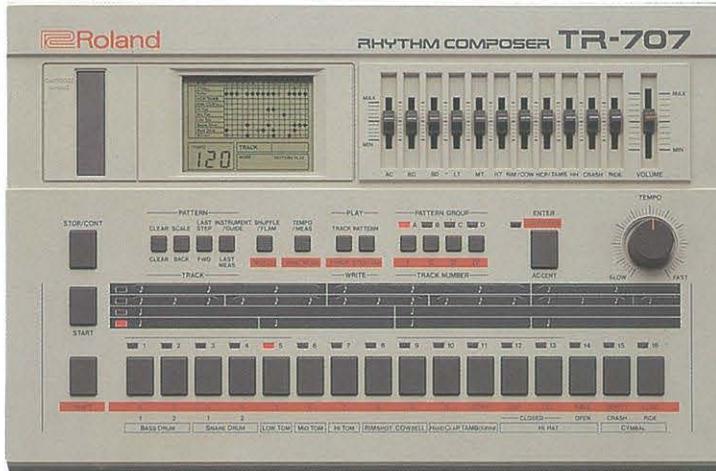
●パッド数：8 ●パッチ・プリセット：4(a, b, c, d) ●ディスプレイ：7セグメント、2桁 ●接続端子：外部パッド・インプット×6、プログラム・チェンジ、パッチ・シフト、MIDI IN、MIDI OUT、ACアダプター ●消費電力：4.5W ●外形寸法：520(W) × 330(D) × 60(H)mm ●重量：4kg ●付属品：専用ACアダプター、MIDIケーブル×1

プログラマブル・リズムマシンの
トップ・モデル。

TR RHYTHM COMPOSER

TR-707 ¥99,800 TR-727 ¥99,800

1曲分のリズム・セクションを記憶・演奏するリズム・マシンTRシリーズ。自由自在でしかも分り易いプログラム機能と、そのリアルなサウンドで常に一步先を走りつづけているデバイスです。多重録音に、ライブに、そしてコンピュータによる音楽創りにと、引くてあまたの人気ぶり。今やあらゆるミュージック・クリエイターの必須アイテムとなっています。そして今、ROLAND DIGITAL DRUM SYSTEMのメンバーとして、さらに新たなるシーンでの活躍が始まります。



人気の秘密は、15のPCM音源にあり

707、727両モデル共に、PCM録音による15のデジタル音源を搭載。音源のリアルさは言うまでもなく、高いSN比と広いダイナミック・レンジによって、クリアで音抜けの良いサウンドを実現。グレードアップされた音響システムになるほど、そのクオリティの高さが証明されています。まずは得意のドラム・サウンドを搭載したモデルTR-707から。ドラムの最も基本となるバス・ドラムとスネア・ドラムには、それぞれ2種類ずつの音源を持たせ、幅のあるドラミングを可能にしています。リムショット、ロー・ミッド/ハイ・タム、オープーン/クローズド・ハイハット、ライド/クラッシュ・シンバルによるスタンダードなセッティングに加え、バリエーションを豊かにするカウベル、ハンド・クラップ、タンパリンをプラスした15種類。ハイ・グレードなドラム・パターンを創作可能とします。そして、今やひっぱりだこのパークッション音源を搭載したモデルTR-727。曲想を決めるポイントになるというだけに、サウンド・ソースの選択は厳選を極めています。代表格のボンゴにはハイ・ローを、コンガにはゼいたくにミュートとオープンを備えたハイ・コンガ、そしてロー・コンガを。また、目立って使われ始めた注目のティンバレス(今はハイ・ロー)を搭載。これだけでも727の持つパフォーマンスの高さが実感できます。さらに、ハイ・ローのアゴゴ、カサバ、マラカスといった慣じみ深い音源と、きわめてヒューマンな長、短のホイッスル、今では手に入りにくくなつたキハダ、そして極めつけのスター・チャイムの計15種類。加えて、これらの豊富な音源をさらに生かす、音源別レベル・コントロール・スライダーと、マルチ・アウトプットを装備。思いのままのレベル・バランスと、イコライザーやリバーブなどを使用した音源ごとの音づくりが存分に行なえます。

叩いてプログラムするタップ・ライト方式。叩ける人にはうれしいモードです。もうひとつは音源をひとつひとつ指定し、鳴らしたい場所を設定するステップ・ライト方式。初めての人でもじっくりと考えながらオリジナル・パターンを作ることができます。いずれも、パターンを走らせながら打ちこめ、また、プログラム中のモード切替も可能ですので、簡単なパターンやアレンジはタップ・ライトで、複雑なパターンはステップ・ライトでなど、使いわけの思いのまま。さらに、ビートに合わせて、アクセントも2段階でプログラム可能、レベルもスライダーで自由に調節できます。シャッフルやフラムのプログラムも簡単に行なえます。そしてメモリー機能。64種類のパターン、及びそれらのパターンを組合せて、4トラック最大998小節まで記憶できます。メモリーしたデータを、カセット・テープに保存できるのはもちろん、さらにメモリー・カートリッジM-64C(別売¥13,000)を使用すれば、本体の2倍つまり64パターン、4トラック最大998小節が2バンパーをカートリッジに記憶できます。本体とカートリッジの各メモリーの入れ替えも自由自在、多彩な演奏が行なえます。

デジタル・ドラム・システムのメンバーとして、 さらにはあらゆるシステムの音源に。

そして、当然ながらMIDI装備。707と727をMIDIで接続、ぜいたくな打楽器パートを演奏させることができます。むろんこれはシンプルすぎる程のセッティング。音源のリアルさとクリアさが、さまざまなセッティングで活躍します。α-DRUMやOCTAPADの外部音源としてのコンピネーションは抜群。「叩く」という動作によって707、727をコントロールできますのでライブにはうってつけ。もちろん、ドラマーやバーカッショニストには、ダイナミックな表現を最も伝えやすいコンピネーションとなり、さらにボーカルやキーボーダーにとってもコントロールしやすくなります。叩き方の強弱にも忠実に反応、α-DRUM、OCTAPADで音源を切りかえることもできます。さらに、コンピュータを使った音楽創作システムMPUミュージック・システムの音源としても威力発揮。コンピュータで作成した音楽データに忠実に反応します。プログラマブルとして、音源として、申し分ない機能を備えたリズム・コンポーザーです。

	TR-707	TR-727
音 源	バス・ドラム1/2、スネア・ドラム1/2、ロー・タム、ミッド・タム、ハイタム、リム・ショット/カウベル、ハンド・クラップ/タンパリン、クローズド・ハイハット、オープーン・ハイハット、クラッシュ・シンバル、ライド・シンバル	ハイ・ボンゴ、ロー・ボンゴ、ミュート・ハイ・コンガ、オープーン・ハイ・コンガ、ロー・コンガ、ハイ・ティンパル、ロー・ティンパル、ハイ・アゴゴ、ロー・アゴゴ、カサバ、マラカス、ショート・ホイッスル、ロング・ホイッスル、キハダ、スター・チャイム
アクセント	トータル・アクセント(2段階)	
記憶リズム数	64種類(16×パターン・グループA-D)	
テンポ	J=38~250	
トラック	4種類(I~IV、連続最大998小節)	
ステップ数	1~16ステップ	
接続端子	バス・ドラム(1/2)、スネア・ドラム(1/2)、ロー・タム、ミッド・タム、ハイタム、リム・ショット/カウベル、ハンド・クラップ/タンパリン、クローズド・ハイハット(クローズド/オープーン)、クラッシュ・シンバル、ライド・シンバル	ボンゴ(ハイ/ロー)、ハイ・コンガ(ミュート/オープーン)、ロー・コンガ、ハイ・ティンパル、ロー・ティンパル、アゴゴ(ハイ/ロー)、カサバ/マラカス、ホイッスル(ショート/ロング)、キハダ、スター・チャイム
その他の接続端子	マスター・アウト(左/L, 右R/MONO)、MIDI IN、MIDI OUT、テーブ・メモリー・セーブ/シンク・アウト、テーブ・メモリー・ロード/シンク・イン、トリガー・アウト、スタート・ストップ(DP-2)、シンク(イン/アウト)	
消費電力	2.4W	
外形寸法	380(W) × 250(D) × 73(H) mm	
重量	1.5 kg	
付属品	ACアダプター、接続コード×1	

オプション



PD-10用ハードケース￥35,000(受注生産)

PD-10を1台収納できます。受注後約3週間で完成。

外形寸法：593(W)×567(H)×185(D)mm／重量：6.1kg



PD-20用ハードケース￥35,000(受注生産)

PD-20を5台収納できます。受注後約3週間で完成。

外形寸法：362(W)×385(H)×108(D)mm／重量：6.6kg



Roland

PAD 8用ハードケース￥50,000(受注生産)

PAD-8×1、TR-72T×1、APC-66×1※スタンド×1を収納できます。外形寸法：1020(W)×535(H)×110(D)mm／重量：9.2kg
＊スタンド収納スペース：1000(W)×130(H)×125(D)mm



DRC-5ドラム・ケーブル￥4,300

PD-10またはPD-20とDDR-30接続用の別売ケーブルです。

XLR端子、5m ※PD-10／20は1台に1本XLRケーブルが付属されています。



APC-66オールバーパスクランブセット￥7,000

19.1ミリから30ミリ径のあらゆるパイプをホールド、オクタハッドをベスト・ポジションでスタンド等へセッティングできます。



写真は、TAMA CS-72Tストレート・シンバル・スタンドにセットした例です。



ローランド・デジタル・ドラム・システムのお求めは

 **Roland** ローランド株式会社

本社 ● 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661

営業所

- 札幌 〒060 札幌市中央区北一条西7-3 ☎011(281)0708
- 仙台 〒980 仙台市本町2-10-33 ☎0222(25)6221
- 東京 〒101 東京都千代田区神田須田町1-5 ☎03(251)5595
- 大宮 〒330 埼玉県大宮市桜木町4-2 ☎0486(45)7737
- 横浜 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-9 ☎045(313)3841
- 浜松 〒433 浜松市高丘町878-8 ☎0534(37)1231

● 松本 〒399 松本市大字芳川平田349-2 ☎0263(26)8853

● 名古屋 〒460 名古屋市中区新栄1-49-8 ☎052(241)4332

● 大阪 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661

● 広島 〒730 広島市中区袋町2-25 ☎082(247)2731

● 福岡 〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 ☎092(471)1481

ローランド・ミュージックプラス・スクール

● 東京 〒150 東京都渋谷区桜丘町23-23第2カスヤビル ☎03(770)6121

● 大阪 〒530 大阪市北区梅田1-2-2-200大阪駅前第2ビル2F ☎06(346)0552

● このカタログの記載内容は1985年10月現在のものです。● 定格およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

● このカタログは印刷物のため、商品の写真は実際の色と異なる場合があります。NAM-387 85 OCT C-4 D-Y